



三気の門

PORTAL SANKI

NO.25

2025.11.11

文責：佐藤正一

令和8年度に向けてPTA組織の大改革を進めます。

～やれる人がやれる範囲で行う組織にします～

今、学校ではPTAの存続が問題になっています。PTAに加入するのは任意ということで、入らない人が出てきて活動が回らなくなってきたのです。

保見中学校はまだそのような状況ではありませんが、近いうちにそうなる可能性があります。**PTAに加入しないという人が悪いのではありません。今の社会のしくみから、忙しくてやれない…というのが実情だと思います。**

今年度の市PTAの組織は、会長が中学校の校長。副会長に小学校の教頭が入っているのをご存じでしょうか。学校のPTAを組織するのがいっぱいいいで、市のPTAに役員を送り込めず、やむなく、学校から役員を出しているのです。

では、PTAを解散すればいいじゃないか？という意見になりますが、PTAは子供たちの成長を支える役割があります。学校教育を保護者の視点から見て、意見をしていただいたり、PTA会費で経済的に支えていただいたりという重要な役割です。

保見中学校では「やれる人がやれる範囲でやる」を基本理念にPTAの組織を大きく改革するために準備を進めています。今は細部を詰めているところですが、大きな改革としては、

(1) 役員制をやめて、**立候補の理事制**にします。

(2) 市のPTA連合会からは脱退します。(自動的に三河も県も脱退)

PTAに入らないという人の理由の99%は、役員を引き受けられないというものです。ここに強制力がないなら、PTAの会員でいいという人がほとんどなのです。従来のように地区で会長、副会長等を出さなければならないという仕組みは、PTAからの脱退者が増えるだけです。**理事制は「やりたい人」が立候補する制度です。立候補多数の場合はくじ引きで決めます。理事の仕事も大幅に軽減します。**

理事制なので市P連に役員は送り込めません。よって必然的に脱退するしかありません。**理事制にしてもPTAの加入は任意です。**入らない＝PTA会費も払わなくてよいということになりますが、そういう人が増えたら、生徒たちの教育活動が縮小することになりますので、できれば会費はご負担いただきたいと思います。会費はお子さんのために使われます。教員も全員負担していますので、ご理解、ご協力をしていただきたいと思います。

***現在、原案をPTA役員会で相談しています。正式な提案を11月の臨時PTA総会（紙面）でみなさまにご判断いただく予定です。**